

○ <http://www.47news.jp/CN/201107/CN2011070401000335.html>

### 新興プラントック所得隠し 水増し発注で1億円

石油プラントのメンテナンス大手「新興プラントック」（横浜市）が東京国税局の**税務調査100+件**を受け、2010年3月期までの5年間に約1億円の所得隠しを指摘されていたことが4日、分かった。経理ミスなどを含めた申告漏れ総額は約2億円。重加算税を含む追徴税額は約9千万円という。

同社によると、川崎事業所（川崎市）の工事責任者が下請け業者に業務用品の代金を水増しして発注、差額分を商品券としてキックバックさせていた。下請け業者には偽造納品書を用意させていた。国税当局は悪質な仮装隠蔽を伴う所得隠しに当たると認定したとみられる。

○ <http://www.zaikei.co.jp/article/20110704/75290.html>

### 【銘柄診断】ゼンショーは2Q業績の増・減額修正が綱引きし続落

2011-07-04 16:36:46

ゼンショー <7550> は4日、21円安の988円と続落した。前週末1日大引け後に今3月期第2四半期（2Q）累計業績の修正を発表、売り上げ、経常利益は上方修正、純利益は下方修正とマチマチとなり、売り方の買い戻しが先行したものの、上値が重いとして利益確定売りが優勢となった。

2Q業績は、期初予想より売り上げを10億500万円、経常利益を10億2400万円引き上げたが、逆に純利益を8億9000万円引き下げ、28億3700万円（前期比39%増）と増益転換率を縮小する。

牛井チェーンの「すき家」の既存店売り上げが順調に推移して売り上げ、経常利益は上ぶれるが、純利益は、関連会社のカップ・クリエイト <7421> の自己株式立会外買付取引に応じて同社株を売却し、売却益に税務上のメリット規定のあるみなし配当課税に該当するとして処理したが、東京国税局の定例の税務調査で同規定に該当せず、過少申告として約20億円の更正税額を通知されたことから下方修正した。同社は、同更正処分について東京国税不服審判所に審査請求をした。

3月通期業績は期初予想に変更はなく、純利益は83億7300万円（前期比76%増）と5期ぶりの過去最高更新を見込んでいる。

株価は、東日本大震災発生で年初来安値650円まで売られたが、牛井チェーン業界の値下げ競争で「勝ち組」評価されているほか、国内証券の新規強気株価付けなどで1000円台を回復、高値追いとなった。売り方の買い戻しも加わりPER14倍台の割安水準で方向感を探る展開が続こう。（情報提供：日本インタビュー新聞社=Media-IR）

○ <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20110709-00000010-san-l34>

### 広島市が1075万円の源泉徴収漏れ

[産経新聞](#) 7月9日(土)8時0分配信

広島市は8日、平成18年7月～22年12月に個人事業主に外部委託した設計や測量など85件の委託料について、広島東税務署の税務調査で計約1075万円の所得税の源泉徴収漏れを指摘されたと発表した。市は追徴税などを含む約1226万円を納付した。

市によると、契約相手が事務所の名称だったため、源泉徴収の対象となる個人だと判断できなかったことが徴収漏れの原因という。時効となる18年以前の委託料については不明。徴収漏れを指摘された85件の所管は、11局と6区役所に及んでいる。市は「長年にわたり誤った認識で処理をしてきた可能性がある」としている。

市は今後、個人事業主に源泉徴収分の返還を求め、事業主がすでに納付した所得税については還付請求をしてもらう。「再発防止に向け、適切な執行の徹底を図る」としている。

○<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20110716-00000505-san-soci>

## 神戸製鋼9億円所得隠し 大阪国税指摘 申告漏れ総額は17億円

[産経新聞](#) 7月16日(土)8時33分配信

大手鉄鋼メーカー「神戸製鋼所」(神戸市)は15日、大阪国税局の税務調査を受け、平成22年3月期までの5年間で約16億9千万円の申告漏れを指摘されたと発表した。このうち約9億1千万円は悪質な所得隠しと判断された。更正処分に伴う追徴税額は本来なら5億円以上になるが、赤字で相殺されたため重加算税を含め約1億6千万円にとどまった。神鋼は指摘に従って近く納税するという。

神鋼によると、完成まで複数年かかる輸出用プラント機器の製造をめぐり、税法上のルールに従い、製造途中の各年度ごとに売上高を案分して計上。途中でコストダウンが予想され、売上高の案分方法を変更しなければならなかったが、変更しないままだった。

これに対し国税局は、売上高の案分方法を変更しなかったことで、売上高を意図的に低く抑えたと指摘。差額の約8億円を所得隠しと判断したという。

また、神鋼側で本来計上すべき収益1億円余りを海外子会社側で計上していた点についても、国税局は「海外子会社に収益を隠した」として、重加算税の対象とした。

このほか、納入後にクレームがあった産業機械への対応費用約1億9千万円をめぐり、解決していない段階で経費計上するなど、軽微な経理ミスも約7億8千万円分あったが、いずれも申告漏れの対象となった。

神鋼は「税務処理上のミスにすぎず、所得を隠す意図はなかった。国税局とは見解の相違があったが、指摘には従うことにした」とコメントしている。

最終更新:7月16日(土)8時33分

○<http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/110720/crm11072001310000-n1.htm>

## 「森のたまご」食品グループが10億円所得隠し 関東信越国税局など指摘

2011.7.20 01:30

「森のたまご」などのブランド卵の製造で知られる鶏卵最大手「イセ食品」（本社・埼玉県鴻巣市）がグループ企業との会計処理をめぐって関東信越国税局などの税務調査を受け、グループ全体で計約10億円の所得隠しを指摘されていたことが19日、関係者への取材で分かった。

経理ミスなどを含むグループ全体での申告漏れ総額は十数億円に上るとされ、重加算税などを追徴課税されたとみられる。

関係者によると、イセ食品はグループ企業との会計処理などを税務申告したが、関東信越国税局などの調査の結果、課税対象の「寄付金」を指摘され、仮装・隠蔽（いんぺい）行為もあったと認定されたという。

グループ中核のイセ食品は昭和46年設立。平成23年1月期の売上高は前年度比約20億円増の351億円に上る。近年の「卵かけご飯」ブームを背景に、同社ブランドの「伊勢の卵」「森のたまご」が注目を浴びたが、一方で、畜産業に伴う感染症リスクを敬遠した金融機関からの融資が細り、「グループ間で資金を回していた実体もあった」（関係者）という。

同社のホームページによると、グループ企業は生産、加工、物流などの各分野に計18あり、米国で展開する農場は、米国北東海岸ではトップ級の生産規模を誇る。

所得隠しの指摘について、イセ食品の代理人は産経新聞の取材に「税務調査があったかどうかを含めコメントはしない」としている。

○<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20110725-OYT1T01169.htm>

## 日本ハム、1億9900万申告漏れ...国税局指摘

食肉業界大手「日本ハム」（大阪市）が、大阪国税局の税務調査を受け、2010年3月期までの5年間で計約1億9900万円の申告漏れを指摘されたことが、わかった。

うち約400万円は所得隠しと認定された。重加算税を含め計約7900万円を追徴課税（更正処分）され、同社はすでに納付したという。

同社によると、中国などの海外子会社に社員を出張させた際の経費について、同国税局は「出張費の一部は技術指導料として子会社が出すべきなのに、親会社が負担し過ぎたために、親会社の所得が減っている」と指摘。また、同社が取引業者から受け取った商品券などを、収益として計上していなかった点が所得隠しに当たると判断されたという。同社は「国税局とは見解の相違もあったが、指摘には従った」としている。

（2011年7月26日07時07分 読売新聞）